日本木材学会居住性研究会 2026 年度技術セミナー
「触覚刺激の作り方」

日本木材学会居住性研究会では，これまで「木材と人」に関する科学的なエビデンスや人の評価手法をテーマとした研究会を企画し，多くのみなさまにご参加いただきました。今回は，被験者に呈示する刺激の中でも触覚刺激について，これをどのように作成し，接触実験に持ち込むのか，ノウハウを紹介します。また，触覚刺激の呈示の実演や，得られたデータの処理方法などについても解説します。多くのみなさまのご参加をお待ちしております。

主催：日本木材学会居住性研究会

共催：日本生理人類学会 Wood/Human Relations 研究部会，日本木材加工技術協会木質仕上げ部会

日時：2026 年 12 月 17 日（木）13:30〜17:00（受付開始 13:00）

会場：東京大学弥生講堂アネックス　セイホクギャラリー（東京都文京区弥生 1-1-1）

内容：

1. 触感とは　仲村匡司（京都大学）
   ヒトは皮膚に分布する様々な感覚受容器が捉えた様々な触覚刺激から，触り心地（触感）を認知します。そのメカニズムについて概説します。
2. 接触温冷感を測る　杉山真樹（森林総合研究所）
   物体に触れた時のあたたかさはどうすれば測れるのか？　木材に触れた時なぜあたたかく感じるのか？　縦手すりを用いた被験者実験（Tsunetsugu & Sugiyama, 2021）を取り上げ，解説します。
3. 塗装材の触り心地　仲村匡司（京都大学）
   塗装材の表面を，見ずに擦ったときと見ながら擦ったときとで触り心地に違いはあるのか？　この実験を行うためにどのような実験プロトコルを設定したのかについて解説します。
4. 触ってみる　実演
   解説した接触実験を一部再現して，実際の被験者実験を体験いただきます。
   セミナー終了後，学内で情報交換会（17:30〜19:30）を行います。

参加費：セミナー　　一般 3,000 円（内消費税 272 円）／学生 1,000 円（内消費税 91 円）
　　情報交換会　一般 5,000 円（内消費税 454 円）／学生 2,000 円（内消費税 181 円）
セミナーおよび情報交換会の参加費は Peatix による事前支払といたします。なお，当研究会は適格請求書発行事業者ではないため，インボイスには対応できません。

資料集：冊子体を当日配布予定

定員：30 名

参加申込：12 月 4 日(金)までに専用サイト（ https://woodboow.xii.jp/whr10/ ）に掲載の Peatix へのリンクからお申込ください。参加費の納入をもって参加申込の受付完了といたします。

お問合せ：whr10@woodboow.xii.jp または下記世話人までメールにてお問い合わせください。

世話人　仲村匡司（京都大学）nakamura.masashi.3c@kyoto-u.ac.jp
山口穂高（日本大学）yamaguchi.hodaka@nihon-u.ac.jp